

倉敷室内管弦楽団

第2回 定期演奏会

'76年11月16日<火>18:30~20:30

倉敷市民会館

主催／倉敷市・倉敷市教育委員会・倉敷市自主文化事業協会・倉敷市文化連盟・倉敷室内管弦楽団



第1回定期演奏会（倉敷市民会館）

倉敷室内管弦楽団 団長 小山裕章

今宵は、倉敷室内管弦楽団の第2回定期演奏会において、
くださりまして、ありがとうございます。昨年12月の第1
回定期演奏会から、はや1年がたちました。昨年の演奏会
は皆様のご支援と団員の努力により大変好評を得ました。
以後1年、サマーコンサートに出演、倉敷市民合唱団の演
奏会に賛助出演する等、演奏活動をつづけて参りましたが、
第2回定期演奏会を開催するにあたりましては、技術的
にも精神的にも一層の飛躍を目指して、より充実した演奏会
にするために、指揮者に作曲家であり、また指揮者として
活躍されている早川正昭氏、チェロの独奏者に山崎伸子さ
んのお二人をお迎えして、皆様のご期待にそい得る演奏会
にするよう、努力して参りました。

まだ未熟で皆様のご期待にそえますか、どうか。秋の一
夜をごゆっくりご鑑賞くださいますようお願いいたします。
終りに、この演奏会の開催にあたりましてご援助くださ
いました皆様に、厚くお礼を申し上げます。

プログラム

二つのトランペットのための協奏曲 ハ長調 ウィヴァルディ

第1楽章	アレグロ	Tp I	森田 裕 三
第2楽章	ラルゴ	Tp II	中 桐 実
第3楽章	アレグロ		

ブランデンブルグ協奏曲 等1番 ヘ長調 BWV 1046 J. S. バッハ

第1楽章	アレグロ	Vn.	中川 衛 子	Ob I	下田 琢 己
第2楽章	アダージオ	Hr I	新田 厚	Ob II	小野 恵 子
第3楽章	アレグロ	Hr II	吉市 幹 雄	Ob III	有 道 淳
第4楽章	メヌエット	Fg	稲田 裕 彦		

————— 休 憩 —————

リュートのための古代舞曲とアリア 第3組曲 レスピーギ

第1楽章	イタリアーナ
第2楽章	宮廷のアリア
第3楽章	シチリアーナ
第4楽章	パッサカーリア

チェロ協奏曲 変ロ長調 ボッケリーニ

等1楽章	アレグロモデラート	Vc	山崎 伸 子
第2楽章	アダージオ		
第3楽章	ロンドー		

指揮 早 川 正 昭

演奏 倉敷室内管弦楽団

曲 目 解 説

◇ 二つのトランペットのための協奏曲 ハ長調 … A. ヴィヴァルディ (1675 ~ 1741)

ヴィヴァルディのおびただしいコンチェルトのなかで、二つのトランペットのためのものはこの曲だけです。典型的なイタリア・バロック風協奏曲のスタイルで書かれ、トランペットがはなやかに活躍します。

◇ ブランデンブルグ協奏曲 第1番 ヘ長調 …………… J. S. バッハ (1685 ~ 1750)

第1回定期で最も人気を集めた、ブランデンブルグ協奏曲第4番にかわって、今回は管楽器群の高度なテクニックを必要とする第1番です。誰が聞いても楽しく、しかも何回きいても飽きないこの名曲は、バッハの技能が最も自由に発揮されている好適例です。

バッハの音楽が、我々の心を強く動かしてはなさないのは、彼のまったくひたむきな、音そのものへの沈潜によって生じた力であり、音そのものに内在する構成原理を忠実にまもり、育てるところからおこる迫力なのです。

◇ リュートのための古代舞曲とアリア 第3組曲 …………… レスピーギ (1879 ~ 1936)

イタリアには、何によらず古いすぐれた芸術品が、作者名も、あるいはその存在さえも知られずに埋れています。レスピーギは、ローマの図書館で埋れていた古い音楽から、古いリュートのための音楽を取り出し、それによってオーケストラのための組曲を3つ作りました。

そのなかで弦楽だけの第3組曲が最も有名で、弦の澄明なひびきを透過して、優しい古雅な雰囲気立ちのぼってくるようなすばらしい曲です。

◇ チェロ協奏曲 変ロ長調 …………… ボッケリーニ (1743 ~ 1805)

ボッケリーニは、イタリアが産んだ18世紀後半のチェロのすぐれた演奏家であるとともに、作曲家です。作品は美しい旋律、典雅な形式、軽快な感情を特徴とし、しばしばハイドンと比較され、古今のチェロ協奏曲のなかでも名曲の一つです。

この曲は、19世紀後半ドイツの名チェロ奏者グリュツマッヒャーによって見出され、彼の改訂版によって現在も演奏されることが多く、今夜もグリュツマッヒャー版で演奏します。今夜はじめてこの曲を聴かれる人も、山崎さんの演奏で、きっとこの曲が好きになることでしょう。

出演者紹介

はやかわ まさあき
早川正昭 (指揮)



昭和9年、千葉県に生まれ、6才から作曲を始め12才で平井康三氏に、また18の時から長谷川良夫氏に作曲を師事。

昭和31年、東京大学卒業後音楽家を志して東京芸術大学へ入学、指揮法を渡辺暁雄氏に師事。

昭和35年、芸大作曲科を卒業。翌年東京ヴィヴァルディ合奏団を創設し、その常任指揮者となって今日に至る。

また交響楽団の指揮者としても活躍し、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団に客演している。なお学生オーケストラの育成にもつとめ、東京大学オーケストラの名誉指揮者として長くその指導に当り、演奏水準を著しく高めた。

やま さきのぶ こ
山崎伸子 (チェロ)



広島生まれ、5才よりピアノを始め、9才より桐朋学園「子供の為の音楽教室」でチェロ科に入り斎藤秀雄氏に師事。

昭和49年、桐朋学園音楽高校を経て同大学チェロ科に入学。同年、同学園渡米オーケストラに参加し団連にて演奏。同年、第9回民音コンクール室内楽部門で1位入賞。

昭和50年、第44回毎日コンクールチェロ部門で1位入賞。

昭和51年、新日本フィル定期演奏会でハイドン：チェロ協奏曲を協演。

現在、提剛、安田謙一郎諸氏に師事し3年在学中。

将来が属望される新人である。

楽団プロフィール

S.49.12.倉敷にふさわしいオーケストラとして、倉敷在住の音楽関係者が中心となって、岡山県内外より団員が集まり、ユニークな楽団が発足しました。

その後、いくつかの演奏会にも出演しましたが、なんといってもやはり楽しいのは練習のときです。毎週月曜日の夕方7時、わが団の練習場市民会館の第5楽屋に、合奏の楽しみを求めて色々な所から色々な人達が集まってきます。

練習に練習をかさねて、だんだんとよい音楽になっていくときの充実感は何ともいえません。団員はみな音楽が好きではない連中なのです。

演奏記録

* S.50.12.8. 第1回定期演奏会

ヘンデル：合奏協奏曲
OP6-10 二短調

ヴィヴァルディ：協奏曲集
「四季」より春・夏

J.S.バッハ：カンタータ
「いまぞ去れ悲しみの影よ」

J.S.バッハ：ブランデンブルグ
協奏曲 第4番

小山清茂：弦楽の為の
アイヌの歌



練習風景

* S.51.7.11. サマーコンサート (於アイヴィースクウェア)

コレルリ：合奏協奏曲
OP6-7 二長調

ヴィヴァルディ：合奏協奏曲
OP3-11 二短調

* S.51.7.25. 倉敷市民合唱団 定期演奏会(賛助出演)

早川正昭：バロック風
「日本の四季」より春

シャルペンティエー：真夜中のミサ



サマーコンサートより

倉敷室内管弦楽団

団 長	：	小 山 裕 章	指 揮 者	：	菊 池 東
運営委員長	：	田 辺 幹 夫	コンサート マスター	：	相 川 美 枝 子
顧問	：	枡 本 辰 郎	”	：	中 川 衛 子
1st Violins	：	相 川 美 枝 子 中 川 衛 子 渡 辺 幸 子 藤 原 和 美 松 本 洋 子 佐 藤 せ つ 子 佐 分 利 小 夜 子 ◦ 中 桐 佐 知 子 森 田 由 美 子	Violoncellos	：	枡 本 辰 郎 ◦ 西 田 毅 雄 田 辺 幹 夫 宇 野 義 雄 平 松 真 弓 ◦ 光 延 勢 吾
2nd Violins	：	菊 池 東 香 西 敬 子 松 田 敏 彦 黒 住 晃 子 友 野 良 一 中 谷 真 理 子 寺 園 美 保 子 ◦ 細 羽 未 峰 子	Double Basses	：	森 田 博 之 安 田 友 子
Violas	：	黒 住 彰 夫 中 野 隆 重 室 孝 明 中 芝 伸 江 ◦ 小 野 正 夫 ◦ 山 本 道 子 中 川 行 敏 (賛助)	Cembalo	：	大 野 敦 子
			Trumpets	：	中 桐 実 森 田 裕 三
			Horns	：	新 田 厚 吉 市 幹 雄 板 矢 信 昭
			Oboes	：	有 道 淳 下 田 琢 己 小 野 恵 子
			Bassoon	：	稲 田 裕 彦

(◦ 印 今回不参加)

問い合わせ先

団員を募集しています!

☎ 713 倉敷市玉島阿賀崎1212

☎ (08652) 2-5145

菊 池 東

52. 1. 29 東京ヴィヴァルディー合奏団演奏会

指揮 早川正昭・弦とチェンバロ 12名

入場料 一般 1,500円・学生 1,000円

52. 3. 13 クリストフ・エッセンバッハ演奏会

入場料 S 3,000円

A 2,500円

B 2,000円

倉敷市民会館



文化を表わす「b」をフレッシュに図案化し、自主文化事業のユニークな企画と内容を端的にシンボライズしたもの

倉敷市自主文化事業協会シンボルマーク

倉敷市自主文化事業協会は、営利を目的としないで文化サービスを提供する公益任意団体です。協会はすぐれた舞台芸術および催物等を企画公演して、芸術鑑賞、芸術・文化活動の促進をはかっていますが、一般の認識と理解を深めるため本年6月末締切りで「シンボルマーク」を募集しましたところ、全国から312点に及ぶ多数の作品が寄せられ、慎重な選考のすえ、左のようにまりました。協会が行なう諸事業、印刷物等にこのマークを使用しておりますから、いっそうのご協力をお願いします。

倉敷市自主文化事業協会

倉敷市民会館内
TEL 25-1515